

# 成東駅前広場空間デザインコンペ(説明文)

## 「海と田んぼと山の駅」

千葉大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻  
デザイン文化計画研究室

### デザイン提案の背景

8月に行った山武市「成東駅周辺地域サーベイ」を行いました。

そこで発見した一つ目のことは、「**地域に多くの宝がある**」ということです。山武市は山と平地、そして海岸と一緒に含んでいる地域であって、多様な自然の様子を見ることができます。そして、そのような地域の各ところから数多くの自然資源を発見することができました。—— また、山武市には歴史的な価値を持った文化財も存在しており、日本の有名な小説家である「伊藤左千夫」などの人的資源も存在していました。このような自然、歴史、人的資源だけではなく、地域の人々い触れ合いながら、地域を考える住民たちの思い、そして活動など、様々な地域の良さを発見することができました。

サーベイを通して発見したもう一つのことは、成東駅は、「**海と平地と山の文化が接してきた中心地**」であったということです。成東駅前の商家町並みを調査する中で、成東駅は昔、この地域の山武杉などの木材を流通した窓口であったということ、また、平地の様々なところから取られた野菜や地域の特産物が集まるところであったということ、そして昔の漁師たちが九十九里の海岸から取った魚を背負い、駅まで歩いてきて友人たちと飲み会を持ったという、色んな話を聞きました。このようなことから、成東駅は昔から、海のもの、田んぼのもの、山のものが入ってきたところであり、それに従って自然に各ところの文化も流入され、融合されたところであることが分かりました。現在、駅周辺のあるそば屋さんで使われているテーブルが、昔船の材料として使われていた木の廃材であることが、その一つの痕跡でもあります。

### デザインのコンセプト

駅を訪ねる人々に「ホット」した印象を与えるため、以下のことを考えました。

- 自然と近い材料を利用する
- 地域のもの、地域の資源を利用する

そして、さらに地域が活性化されるため、以下のことを考えました。

- 地域の良さが分かりやすい空間をデザインする
- 地域の住民が交流でき、地域の様々な活動の参加できるような空間をデザインする

### デザイン提案

#### 1. 駅前空間

- **駅の床のタイルブロック**  
山武杉をブロックにして、駅の床とする。木の材質から自然の暖かさを表す。
- **組子のアート**  
山武杉で作った組子を床に入れてアクリル板で覆い、歩行者が歩きながら組子のアートが見えるようにする。
- **バス停のフレットフォーム**

山武杉の木材でフレットフォームの屋根を制作する。屋根の天井を完全に遮断せず、日差しや雨・雪がある程度は自然に入るようにする。

- **バス停のベンチ**  
舟の廃材、そのままの形をベンチにして、ベンチを設置する。
- **フェンス**  
駅周辺にーのフェンスを設置する。
- **植樹**  
ロータリーの中央部と入口に桜の木や藤を植える。
- **照明**  
夜にも駅のことが楽しめるように、証明を設置する。

## 2. 駅前商家町

- **空き店舗を利用した「展示場」**  
商店街の空き店舗を掃除し、常設の展示スペース作る。成東城の歴史、伊藤左千夫などの偉人、食虫植物、町の水路を利用した生活、山武杉の廃材を利用した日用品など、成東の資源について展示を行う。人びとが地域の特産物をいつでも買えるように地域の野菜などを販売する。
- **空きスペースを活用した「青空市場」**  
山武市の海や田んぼ、山から取れる特産品を販売する市場を、商店街の空きスペースを利用して定期的に開く。山武市の住民をはじめ、外部の人々も出店できる。消費者が生活の場で、直接生産者の手から買うことで、道の駅では味わえない人々の生の生活を体感することができる。
- 広告のために追加で工夫できること
  - 高速道路から国道のほうに入る、T字路のところに「海と田んぼと山の駅ー成東」の看板を設置する
  - ホームページを作成する など